

令和元年度 南島原市消費生活センター相談受付状況

～多重債務の相談が3倍！一人で悩まず、すぐ相談！～

令和元年度、市消費生活センターでは195件(前年度比9件増)の相談を受け付けました。相談内容をみると、特に「多重債務(借金)」に関する相談が前年度の3倍と急増しています。また通信販売(インターネット通販など)をきっかけに、「注文した商品が届かない」「お試しのつもりが定期購入だった」という相談が多く寄せられました。

消費者トラブルは誰にでも起きる身近なものです。まずは被害の未然防止のため、日ごろからどんなトラブルが起きているのか情報収集しましょう。訪問販売や電話勧誘を受けたときは、トラブル回避のために「即決しない」「内容の分からないものは断る」「誰かに相談してからにする」とルールを決めておくのも有効です。

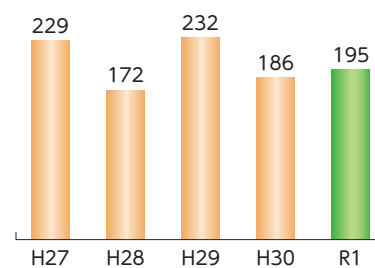
もしも困ったことに直面したら、早めにご相談ください。相談すると被害を回復できる可能性があります。また寄せられた情報は次の被害者が発生しないよう、啓発などに役立てられます。相談は無料です。お気軽にご利用ください。

●相談件数上位の商品・サービスおよび購入したきっかけ

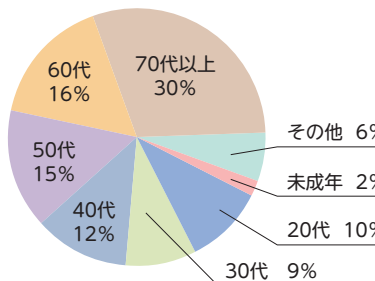
順位	商品名・サービス名	件数(前年同期)	順位	購入のきっかけ	件数
1	融資サービス[多重債務(借金)]	27(9)	1	店舗購入	61
2	商品一般 (商品やサービスを特定できないもの)	17(31)	2	通信販売	58
3	放送・コンテンツなど (架空請求・ワンクリック請求を含む)	13(28)	3	電話勧誘販売	22
4	インターネット通信サービス	11(19)	4	訪問販売	21
5	健康食品	9(7)	5	マルチ・マルチまがい	3
5	レンタル・リース・貸借	9(9)	6	ネガティブ・オプション	3
5	他の金融関連サービス (クレジットカード、債権回収サービスなど)	9(0)	6	その他・無店舗	1
8	工事・建築・加工	8(3)	—	訪問購入	0
9	役務その他 (結婚相手紹介サービスなど)	7(1)	—	不明・無関係	26



●消費生活相談件数(年度別)



●年代別の相談割合



救済金額
10,792,277円
市センターへの相談で、「支払わなくて済んだ」「返金があった」などの合計金額。

教えて！国民年金 ～国民年金基金のお知らせ～

国民年金基金は、国民年金に上乗せして加入し、税金優遇を受けながら掛け金を積み立て、老後により充実した年金を受け取ることができる公的な年金です。

◆特徴

- ①掛け金が全額「社会保険料控除」で、受け取る年金も「公的年金等控除」の対象です。
- ②受け取る年金は、終身が基本で一生変動しません。
- ③万一のときは遺族に一時金が支払われます(遺族保証のないB型も選べます)。
- ④掛け金は、加入時の年齢で一定。お休みや増減もできます。

*出張年金相談の受付を再開しました 南島原市 健康づくり課 ☎73-6641 または 各支所

◆加入できる人

- ①国民年金の第1号被保険者(免除の人などを除く)
- ②国民年金の任意加入者(60歳から65歳未満の人や海外在住の人)

全国国民年金基金 長崎支部

☎0120-65-4192

市役所の担当課がわからないときは

南島原市役所

☎73-6600 へ

南島原にゆーす

Minamishimabara City INFORMATION&NEWS

空き家バンク制度

南島原市健康づくり課 ☎73-6631 FAX82-3086 Eメール: teijyu@city.minamishimabara.lg.jp



登録物件の8割が
空き家ではなくなっています

市では、定住促進のため、空き家の有効活用を図る「空き家バンク制度」を実施しています。

空き家を買いたい人、貸したい人は「空き家バンク」に登録をお願いします。

※市は契約交渉などの仲介はできません。

※登録対象物件は、人が住める程度の物件です。

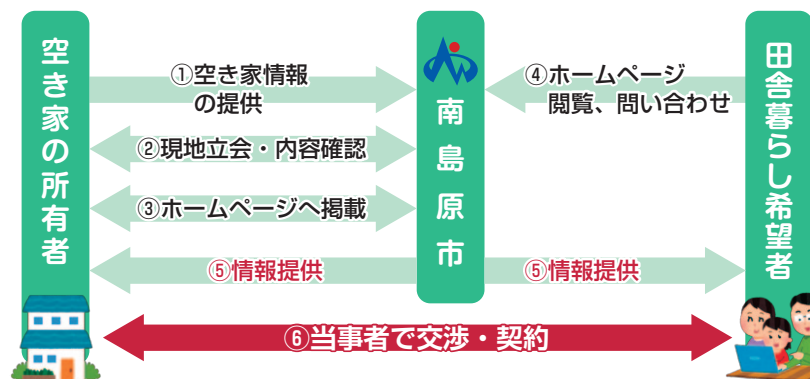
※家財道具はそのままでも結構です。

南島原市 空き家の所有者

南島原市 申込書に記入し、提出してください。



空き家バンク制度の概要



詳しい内容はホームページでも紹介しています。上記のQRコードを読み取るとご覧になれます。

移住検討者向けサイト

Uターン者も対象です。

南島原市 空き家情報

南島原GOLDハウス

環境課だより エコライフのすすめ ごみのお話① 南島原市環境課 ☎73-6644

私たちが日常生活を送る上で必ず発生する生活ごみ。一体どれだけの量が発生し、その処分にはどのくらいの費用がかかっているのでしょうか？

本市の昨年度の生活ごみ発生量は約11,495トンで、毎日約31.5トンの生活ごみが発生しています。

南有馬クリーンセンターでは1トンのごみを焼却し、処分するのに約29,000円かかります。つまり、1キログラムのごみを処理するのに約30円かかっているのです。ごみ袋(大)に6キログラムのごみを入れた場合、1袋の処分に180円もの費用がかかっていることになります。意外に高いと思われたでしょう。

統計上では市民1人あたり毎日約700グラムの生活ごみを出していることになっていますが、処分費用を安くするのに一番効果的で簡単な方法は、生ごみの水分をよく切って出すことです。

毎日一人ひとりが卵1個分(約60グラム)の重さのごみを減らすことで、年間約1,000万円の経費削減が見込めます。皆さん、ぜひ「ごみの減量化」にご協力をお願いします。



生ごみは
水分を切って
出しましょう！